

2024年度 第4四半期 京都ものづくり中小企業景況調査 報告書

<概況>

今回の調査では、資金繰りについてはほぼ横ばい、それ以外の項目では前回調査と比較して悪化となり、悪化傾向が強まった。さらに、米国の関税問題で、米国のみならず、世界経済全体が先行き不透明感を高めており、今後の中小企業を取り巻く環境は依然厳しい状況が予想される。

なお、2024年度の総括としては、一時、受注量増加等で回復する場面もみられたが、本格的な回復には至らず、賃上げ対応、価格転嫁交渉、人材確保など様々な課題が依然残されたままである。

〔項目別の特徴〕

- ・受注量 : 業況判断D Iは▲24.1となり、前期のD I値▲3.6と比べ20.5[°] 1[°]減少と、前回調査時から悪化した。
- ・受注見通し : 業況判断D Iは▲18.0となり、前期のD I値▲11.7と比べ6.3[°] 1[°]減少し、前回調査時から若干悪化した。
- ・受注単価 : 業況判断D Iは3.9となり、前期のD I値7.8と比べ3.9[°] 1[°]減少し、前回調査時より若干悪化した。
- ・資金繰り : 業況判断D Iは▲8.9となり、前期のD I値▲9.3と比べ、前回調査時とほぼ横ばいとなった。
- ・採算状況 : 業況判断D Iは▲0.8となり、前期のD I値±0と比べ0.8[°] 1[°]減少し、前回調査時から若干悪化した。
- ・受注余力 : 業況判断D Iは48.8となり、前期のD I値46.0と比べ2.8[°] 1[°]増加となり、若干悪化した。
※「受注余力あり」が増加＝マイナス傾向

調査対象企業300社のうち23社に対して、訪問等により景況感についてのヒアリングを実施

〔全体的な景況感〕

- ・インフラ業界では年度末の駆け込み需要以上に、電力・水道関係の更新設備などで受注が発生している。
- ・中国経済低迷の影響で、産業用装置機器類、工作機などの受注が減少している。
- ・価格転嫁については、転注リスクの他、発注元の圧力より交渉にも至っていない事例もある。
- ・原材料費以外の人件費や光熱費などの値上がりは利益圧縮で調整されている状況。
- ・特に若年層の人材確保に苦戦している企業が多くみられる。一部、資金力のある企業は民間の有料求人ツールを利用し採用に成功しているが、その後の定着率が課題となっている。

〔半導体関連〕

- ・先端半導体など限定的な分野で増産情報はあがるが、全体的には受注の低迷が続いている状況。
- ・汎用半導体では中国を始めとする各国で設備投資が完了しており、今後の大きな波は数年先になると予測される。大手TSMCなどは中国や台湾企業の国産設備で相当部分まかなわれる可能性が高い。

〔アメリカ関税引き上げの影響〕

- ・自動車関連企業では、元請である自動車メーカーの動向を注視する企業がほとんどである一方、ロボット分野など他分野への展開を積極的に進め、安定的な受注獲得を目指した動きもみられる。
- ・現時点では影響の程度は不透明であり、今後、どのくらいの影響が出るか、またその時期についての予測は困難な状況であり、漠然とした不安が広がっている。

(注) 本報告書で使用するD Iとはディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「増加」・「好転」したとする企業の割合から「減少」・「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

調査対象期間 2025年1月～2025年3月
(2025年3月末集計)

調査対象企業 300社 回答企業数 259社 (回答率 86.3%)

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

(3) 調査時点

2025年3月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

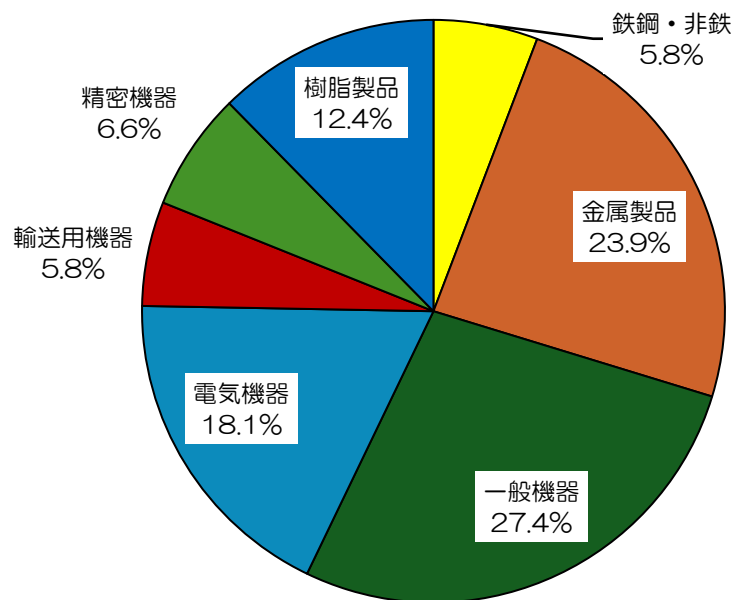
※一部企業へはヒアリング調査を実施

(5) 回答状況

① 調査対象企業数	300 社		
② 回答企業	259 社		
③ 内訳	鉄鋼・非鉄関係	15 社	（ 5.8% ）
	金属製品関係	62 社	（ 23.9% ）
	一般機器関係	71 社	（ 27.4% ）
	電気機器関係	47 社	（ 18.1% ）
	輸送用機器関係	15 社	（ 5.8% ）
	精密機器関係	17 社	（ 6.6% ）
	樹脂製品関係	32 社	（ 12.4% ）
④ 回答率	86.3 %	〔前回：86.0%〕	

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	5 1.9%		1 1.6%		1 2.1%			3 9.4%
～300万円	20 7.7%		7 11.3%	2 2.8%	4 8.5%	2 13.3%	1 5.9%	4 12.5%
301～999万円	12 4.6%		3 4.8%	6 8.5%		1 6.7%		2 6.3%
1000～2000万円	139 53.7%	9 60.0%	35 56.5%	40 56.3%	24 51.1%	6 40.0%	11 64.7%	14 43.8%
2001～5000万円	62 23.9%	5 33.3%	15 24.2%	18 25.4%	12 25.5%	2 13.3%	3 17.6%	7 21.9%
5000万円超	21 8.1%	1 6.7%	1 1.6%	5 7.0%	6 12.8%	4 26.7%	2 11.8%	2 6.3%
合 計	259 100%	15 100%	62 100%	71 100%	47 100%	15 100%	17 100%	32 100%

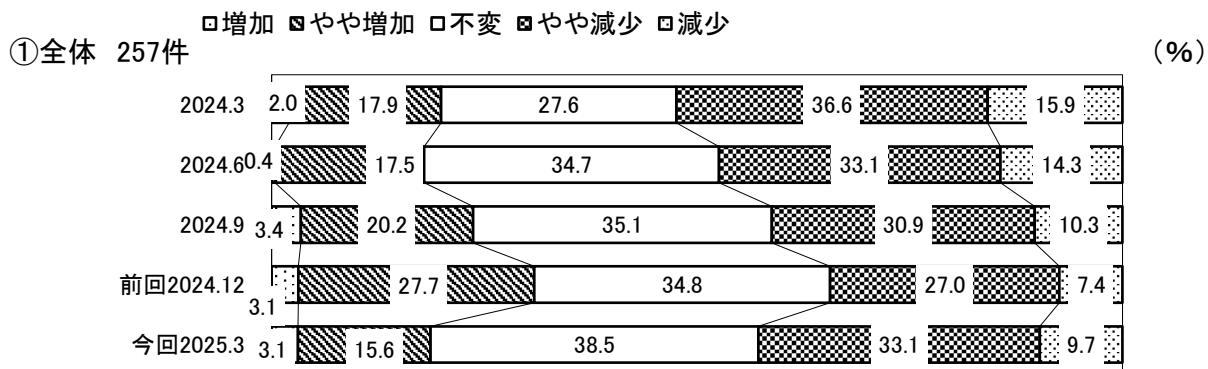
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

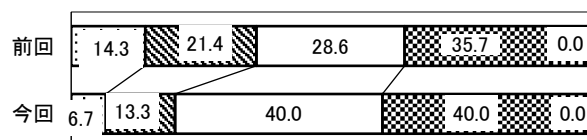
	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1～5人	19 7.3%	3 20.0%	3 4.8%	7 9.9%	3 6.4%			3 9.4%
6～10人	31 12.0%	1 6.7%	6 9.7%	9 12.7%	4 8.5%	2 13.3%	4 23.5%	5 15.6%
11～20人	61 23.6%	3 20.0%	13 21.0%	21 29.6%	11 23.4%	2 13.3%	4 23.5%	7 21.9%
21～30人	42 16.2%	3 20.0%	17 27.4%	13 18.3%	3 6.4%	1 6.7%	1 5.9%	4 12.5%
31～50人	45 17.4%	4 26.7%	9 14.5%	10 14.1%	11 23.4%	3 20.0%	4 23.5%	4 12.5%
51人以上	61 23.6%	1 6.7%	14 22.6%	11 15.5%	15 31.9%	7 46.7%	4 23.5%	9 28.1%
合 計	259 100%	15 100%	62 100%	71 100%	47 100%	15 100%	17 100%	32 100%

3. 調査結果

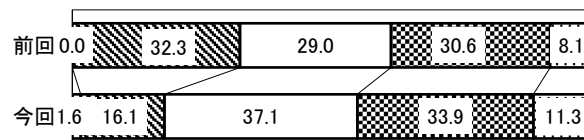
(1) 受注量について



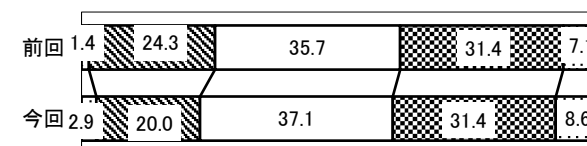
②鉄鋼・非鉄 15件



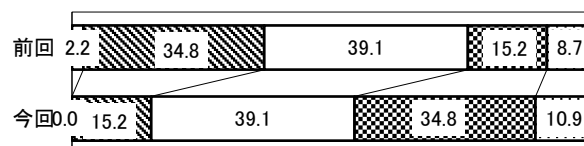
③金属製品 62件



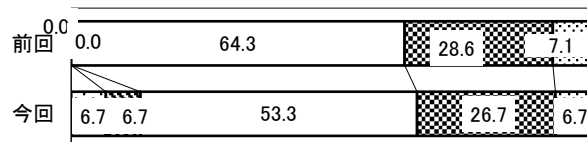
④一般機器 70件



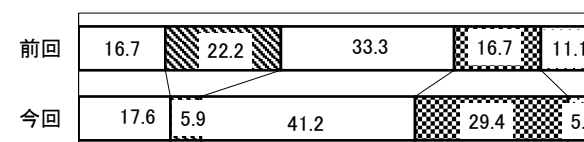
⑤電気機器 46件



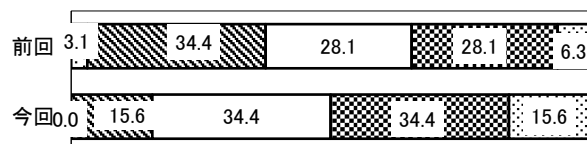
⑥輸送用機器 15件



⑦精密機器 17件



⑧樹脂製品 32件



○全体

・1月～3月期の受注量の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲24.1となり、前期（10月～12月期）のD I 値▲3.6と比べ20.5ポイント減少と、前回調査時から悪化した。

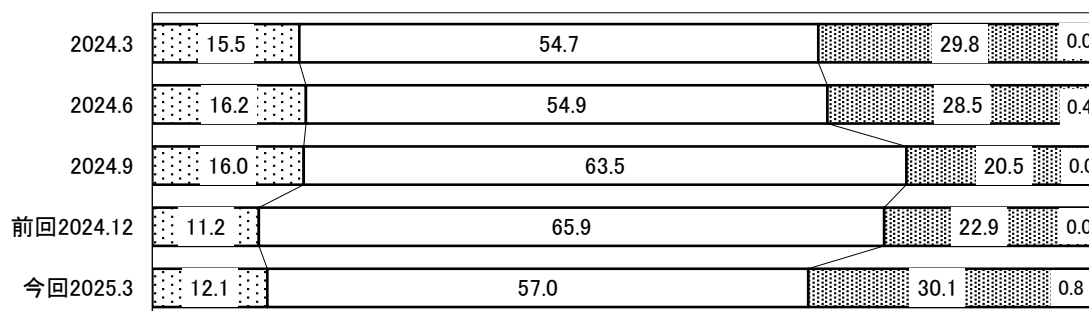
○業種別

・D I 値は、精密機器（▲11.8）、一般機器（▲17.1）、鉄鋼・非鉄（▲20.0）、輸送用機器（▲20.0）、金属製品（▲27.5）、電気機器（▲30.5）、樹脂製品（▲34.4）の7業種全てでマイナスとなった。

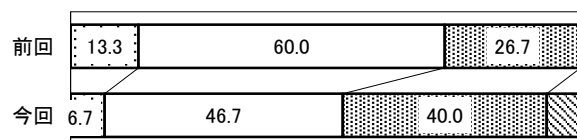
・D I 値を前回と比較すると、輸送用機器（15.7ポイント）の1業種で上昇、一般機器（▲4.3ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲20.0ポイント）、金属製品（▲21.1ポイント）、精密機器（▲22.9ポイント）、樹脂製品（▲37.5ポイント）、電気機器（▲43.6ポイント）の6業種でマイナスとなった。

(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)

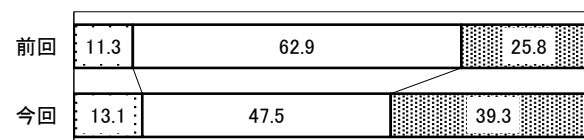
①全体 256件 □増加 □不変 ■減少 ■不明 (%)



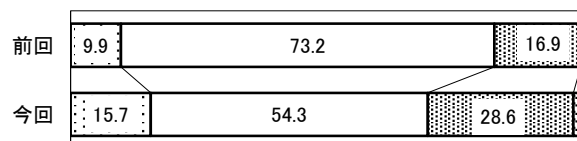
②鉄鋼・非鉄 15件



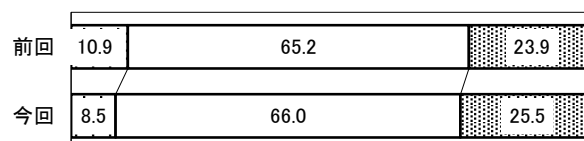
③金属製品 61件



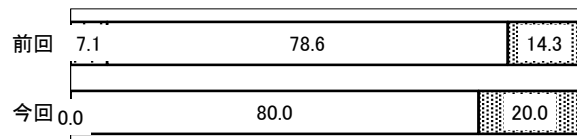
④一般機器 70件



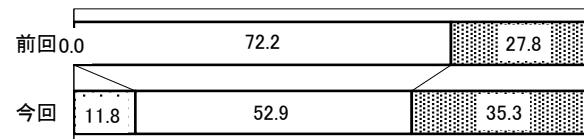
⑤電気機器 47件



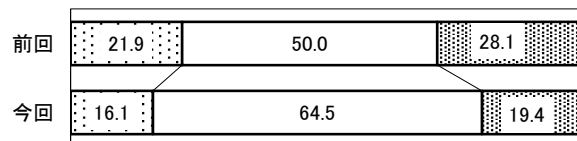
⑥輸送用機器 15件



⑦精密機器 17件



⑧樹脂製品 31件



○全体

- ・次期 (4月～6月期) の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値) は▲18.0となり、前期 (1～3月期) 調査時のD I 値▲11.7と比べ6.3ポイント減少し、前回調査時から若干悪化した。

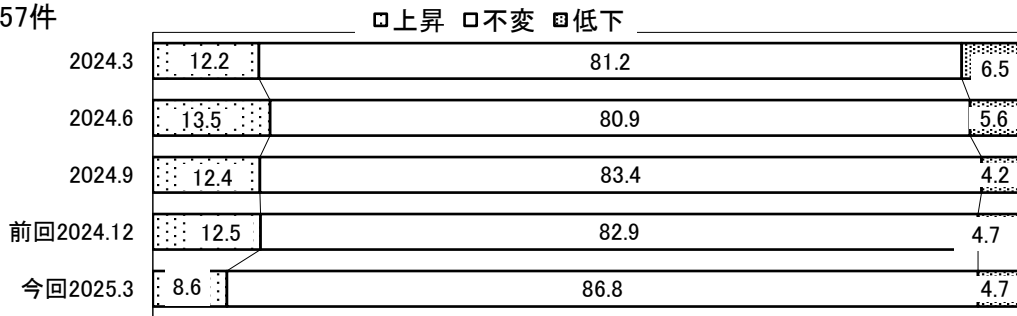
○業種別

- ・D I 値は、樹脂製品 (▲3.3)、一般機器 (▲12.9)、電気機器 (▲17.0)、輸送用機器 (▲20.0)、精密機器 (▲23.5)、金属製品 (▲26.2)、鉄鋼・非鉄 (▲33.3) の7業種全てでマイナスとなった。
- ・D I 値を前回と比較すると、精密機器 (4.3ポイント)、樹脂製品 (2.9ポイント) の2業種でプラスとなり、電気機器 (▲4.0ポイント)、一般機器 (▲5.9ポイント)、金属製品 (▲11.7ポイント)、輸送用機器 (▲12.8ポイント)、鉄鋼・非鉄 (▲19.9ポイント)、5業種でマイナスとなった。

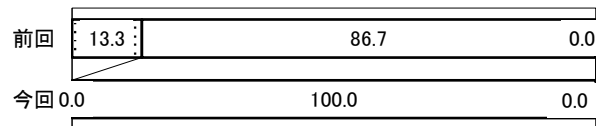
(3) 受注単価について

(%)

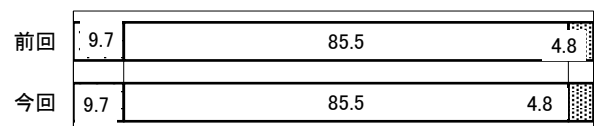
①全体 257件



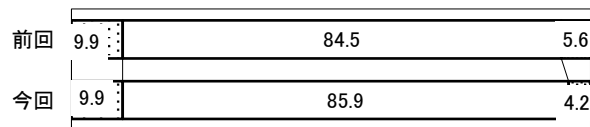
②鉄鋼・非鉄 15件



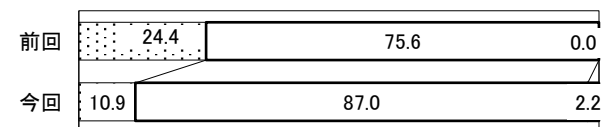
③金属製品 62件



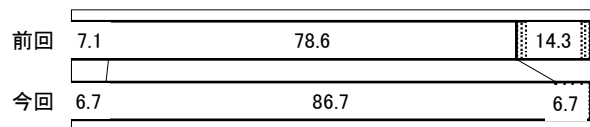
④一般機器 71件



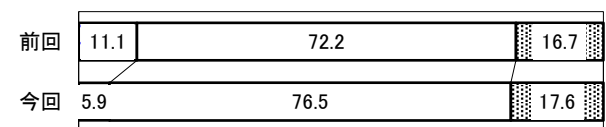
⑤電気機器 46件



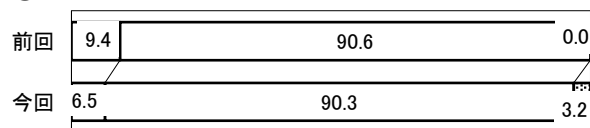
⑥輸送用機器 15件



⑦精密機器 17件



⑧樹脂製品 31件



○全体

- ・1月～3月期の受注単価の業況判断D I（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）3.9となり、前期（10月～12月期）のD I値7.8と比べて3.9ポイント減少し、前回調査時より若干悪化した。

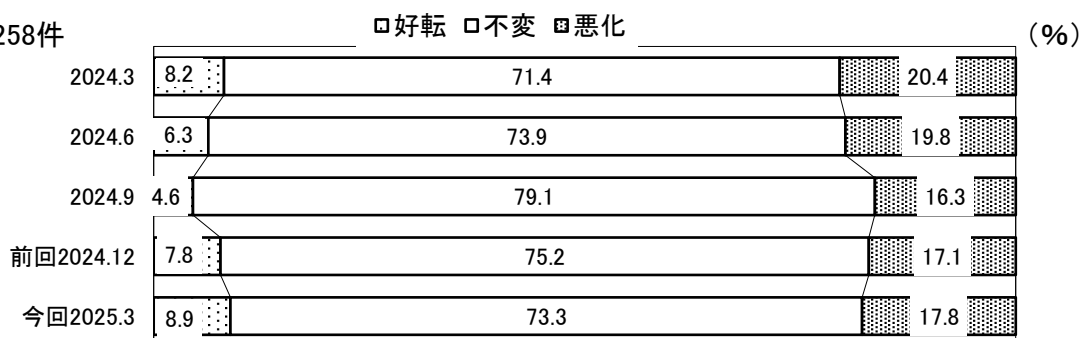
○業種別

- ・D I値は、電気機器（8.7）、一般機器（5.7）、金属製品（4.9）、樹脂製品（3.3）、4業種でプラス。精密機器（▲11.7）の1業種でマイナスとなり、鉄鋼・非鉄、輸送用機器の2業種で±0となった。

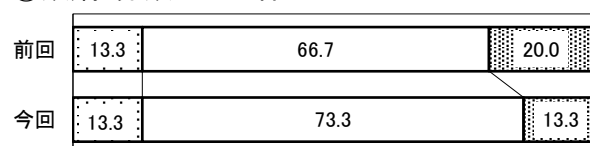
- ・D I値を前回と比較すると、輸送用機器（7.2ポイント）、一般機器（1.4ポイント）の2業種で上昇。精密機器（▲6.1ポイント）、樹脂製品（▲6.1ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲13.3ポイント）、電気機器（▲15.7ポイント）の4業種でマイナスとなり、金属製品の1業種のみ±0となった。

(4) 資金繰りについて

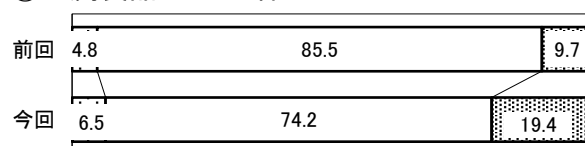
①全体 258件



②鉄鋼・非鉄 15件



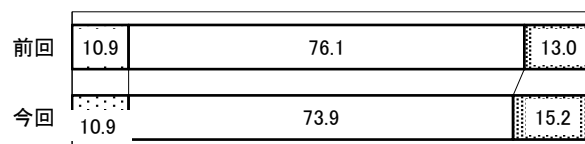
③金属製品 62件



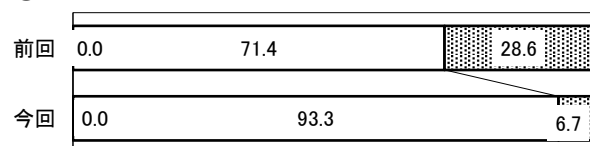
④一般機器 71件



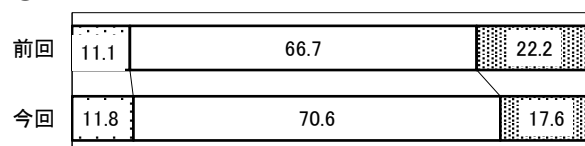
⑤電気機器 46件



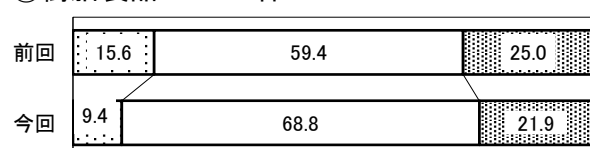
⑥輸送用機器 15件



⑦精密機器 17件



⑧樹脂製品 32件



○全体

- ・1月～3月期の資金繰りの業況判断D I（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲8.9となり、前期（10月～12月期）のD I値▲9.3と比べて0.4ポイント増加し、前回調査時とほぼ横ばいとなった。

○業種別

- ・D I値は、電気機器（▲4.3）、精密機器（▲5.8）、輸送用機器（▲6.7）、一般機器（▲9.8）、樹脂製品（▲12.5）、金属製品（▲12.9）の6業種でマイナス、鉄鋼・非鉄の1業種のみ±0となった。

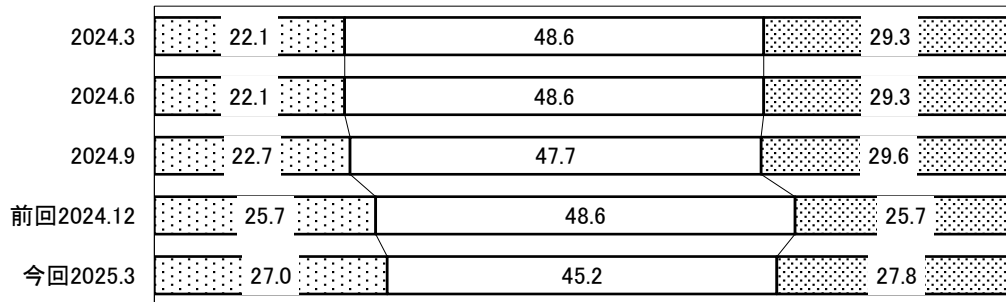
- ・D I値を前回と比較すると、輸送用機器（21.9ポイント）、鉄鋼・非鉄（6.7ポイント）、精密機器（5.3ポイント）、一般機器（4.3ポイント）の4業種でプラスとなり、電気機器（▲2.2ポイント）、樹脂製品（▲3.1ポイント）、金属製品（▲8.0ポイント）の3業種でマイナスとなった。

(5) 採算状況について

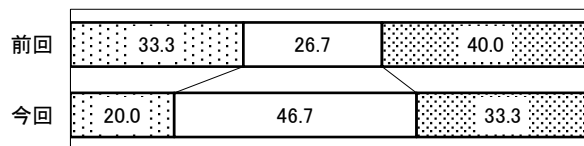
①全体 259件

□黒字 □収支トントン □赤字

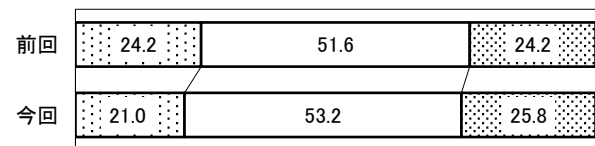
(%)



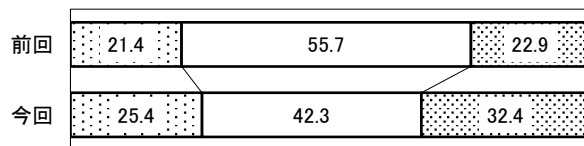
②鉄鋼・非鉄 15件



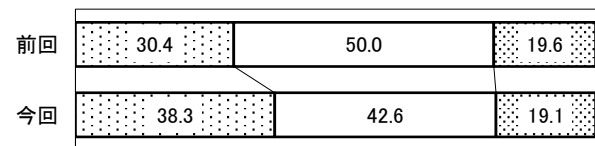
③金属製品 62件



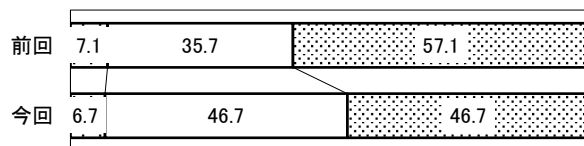
④一般機器 71件



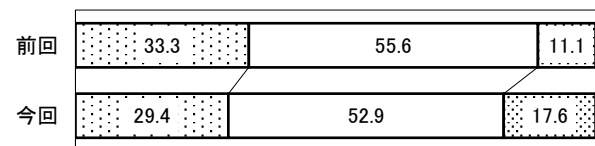
⑤電気機器 47件



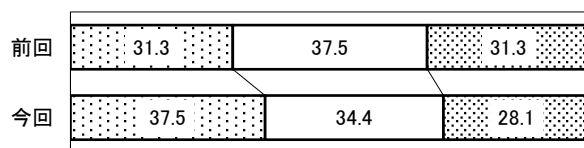
⑥輸送用機器 15件



⑦精密機器 17件



⑧樹脂製品 32件



○全体

・1月～3月期の採算状況の業況判断D I（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲0.8となり、前期（10月～12月期）のD I値±0と比べ0.8ポイント減少、前回調査時から若干悪化した。

○業種別

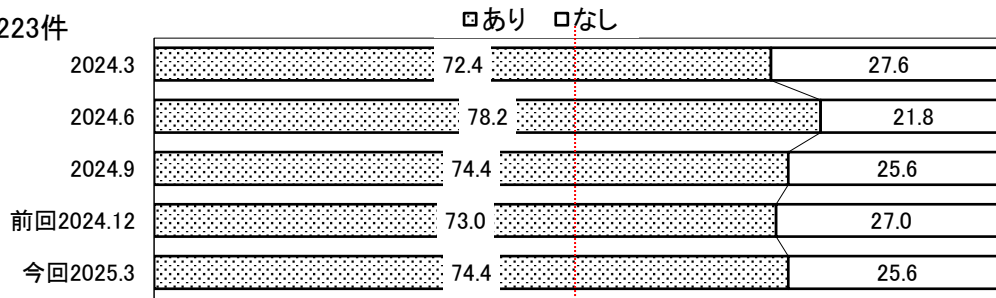
・D I値は、電気機器（19.2）、精密機器（11.8）、樹脂製品（9.4）の3業種でプラスとなり、金属製品（▲4.8）、一般機器（▲7.0）、鉄鋼・非鉄（▲13.3）、輸送用機器（▲40.0）の4業種でマイナスとなった。

・D I値を前回と比較すると、輸送用機器（10ポイント）、樹脂製品（9.4ポイント）、電気機器（8.4ポイント）の2業種で上昇。金属製品（▲4.8ポイント）、一般機器（▲5.5ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲6.6ポイント）、精密機器（▲10.4ポイント）の5業種で低下となった。

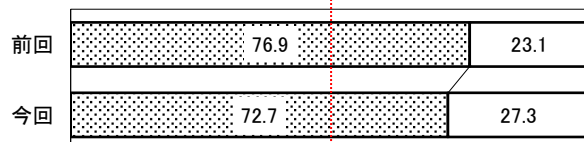
(6) 受注余力について

(%)

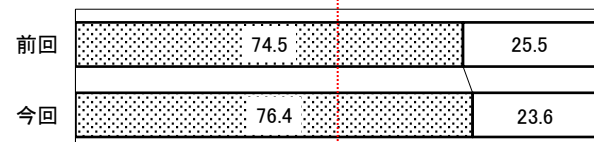
①全体 223件



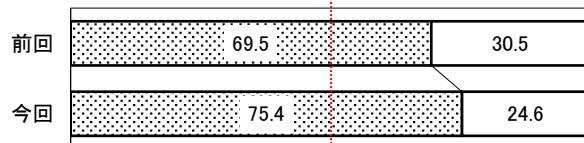
②鉄鋼・非鉄 11件



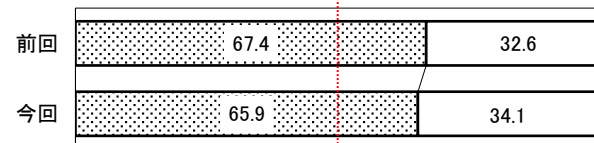
③金属製品 55件



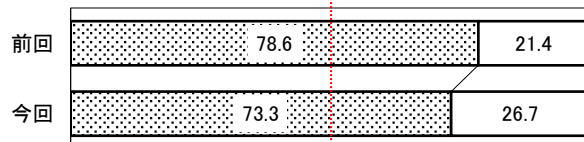
④一般機器 57件



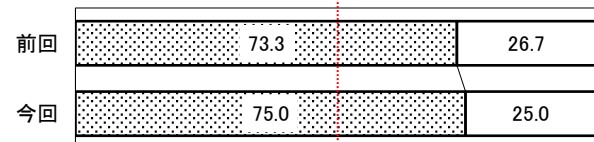
⑤電気機器 41件



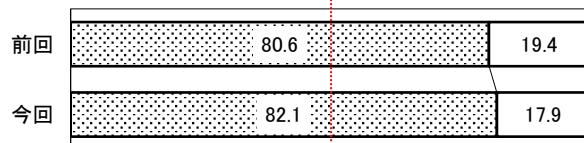
⑥輸送用機器 15件



⑦精密機器 16件



⑧樹脂製品 28件



○全体

- ・1月～3月期の受注余力の業況判断D I（「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた増加）は48.8となり、前期（10月～12月期）のD I値46.0から2.8ポイント増加となった。
- ・1月～3月期は「受注余力あり」とする企業が74.4%と、前期の73.0%より1.4ポイント増加となった。
（「受注余力あり」の割合が減少した＝プラス傾向）

○業種別

- ・D I値は、樹脂製品（64.2）、金属製品（52.8）、一般機器（50.8）、精密機器（50.0）、輸送用機器（46.6）、鉄鋼・非鉄（45.4）、電気機器（31.8）の7業種全てでプラスとなった。

- ・D I値を前回と比較すると、一般機器（11.8ポイント）、金属製品（3.8ポイント）、精密機器（3.4ポイント）、樹脂製品（3.0ポイント）の4業種で前回比プラス、電気機器（▲3.0ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲8.4ポイント）、輸送用機器（▲10.6ポイント）の3業種で前回比マイナスとなり「受注余力なし」と回答した企業の割合が減少している。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E - mail : m a r k e t @ k i 2 1 . j p

U R L : h t t p : // w w w . k i 2 1 . j p